

令和6年9月17日
産業戦略部産業人材育成課

人事担当者向けリスキリングワークショップの結果について

茨城県では、デジタル化や脱炭素化により、産業構造が抜本的に変化する中で、本県が持続的な発展を遂げるため、成長産業・分野への円滑な労働移動や、県内産業の生産性向上・賃金水準向上につながるリスキリングの推進に取り組んでおります。

9月9日(月)にグロービス経営大学院 茨城・特設キャンパスリーダー 川崎 篤之 氏を講師にお招きし、「リスキリング【Re-Skilling】 人事ご担当者とのワークショップ」を開催しました。リスキリングの重要性やその取り組み方についての講義や、参加者同士で自社課題についての意見交換が行われ、グループワークでは模造紙を活用しながら活発な議論が行われました。

「リスキリング」という言葉の認知度は上がりつつも、「リスキリングとは」という本質に初めて触れる方も多く、自社課題の解決や生産性向上へつなげようと熱心に参加される皆様の姿が印象的でした。

記

1 開催概要

日 時 令和6年9月9日(月) 13:00~16:00
会 場 イーアスつくば イーアスホール
対 象 茨城県内に本社または事業所を持つ人事担当者、経営者・役員等
講 師 グロービス経営大学院
茨城・水戸特設キャンパスリーダー 川崎 篤之 氏

参加者 32名
主催 茨城県・茨城県リスキリング推進協議会

ワークショッププログラム

(川崎講師からの講義)

- ・リスキリングでできること
- ・リスキリングの設計とは
- ・リスキリングを導入する

(グループワーク)

- ・PEST 分析
- ・人事担当として、「経営層」「従業員」への働きかけ



▲川崎講師

2 ワークショップ結果の概要

(1) 講義要旨

- ・VUCA の時代*、誰も経験したことがない時代が到来している。その時に何を考えるのか。社会が変わり、業界が変わり、自社が変わる時代。その会社を作っている個人をリスキリングによってアップデートさせていかなければならない。

- ・リスクリングは企業が主体となり、経営戦略と一体的に「業務」として従業員にリスクリング「させる」べきもの。誰に、何を学ばせるのか、会社や人事担当者がしっかり戦略をもって考えなければならない。
- ・誰も正解が分からないこの時代、スキル習得のベースとなる「考える力」を学ぶ必要がある。

*VUCA の時代 … 社会変化が激しく、予測が困難な時代という意味。
Volatility (変動)、Uncertainty (不確実)、Complexity (複雑)、Ambiguity (曖昧)の頭文字をとって、ブーカと読む。

(2) 参加者の感想等

- ・自分自身が学びなおすためのリスクリングかと思っただけだったが、会社が従業員に「リスクリングさせる」ということが新たな発見だった。
- ・いつか会社や業界が埋没してしまうかもしれないので、生き残り戦略としてリスクリングに取り組んでいきたいと思った。
- ・リスクリングを本格的に実施していくために、何を整理すべきか理解できた。また、他社の考えを聞くことができ、有意義な時間になった。
- ・リスクリングを理解するだけでなく、今後に向けて前向きになれた。人事担当者として、経営層へどんなふうに働きかけをすると効果的か、考えてやっていきたい。
- ・保守的であったが、改革が必要であることを理解した。多角化を検討していきたい。

3 ワークショップの様子



(参考) 今後の取組

- ・リスクリング推進企業等表彰 (募集期間：2024. 10. 18 まで)
- ・個人向けリスクリングワークショップ (2024. 11. 17 開催)
- ・リスクリングシンポジウム (2025. 2 月頃開催予定)



◀情報発信中！
いばらきリスクリングポータルサイト
<https://ibaraki-rs.jp/>

【問い合わせ先】
茨城県産業戦略部産業人材育成課
担当：長谷川、大野 TEL：029-301-3653